

プレスリリース

報道関係各位

2018年5月15日

公共交通オープンデータ協議会

## 「東京公共交通オープンデータチャレンジ」入賞作品決定

首都圏の公共交通事業者やICT事業者が参画する、公共交通オープンデータ協議会（会長：坂村 健 INIAD 東洋大学情報連携学部 学部長）では、「東京公共交通オープンデータチャレンジ」の表彰式を、2018年5月15日（火）に東洋大学赤羽台キャンパス INIAD ホールにおいて開催し、入賞作品を発表しました。このコンテストは、本協議会に参画する交通事業者が、それぞれの保有するデータを一般の開発者に対して公開し、様々なアプリケーションやアイデアを募集したものです。

1000件近いユーザ登録と、約100件の応募の中から最優秀賞に選ばれたのは、日向 慧氏による「Tokyo Trains」です。この作品は、今回のチャレンジで公開された東京に乗り入れる多数の鉄道路線のデータを、全て1つのアプリケーションから閲覧できるようにしたものです。現在、東京では多数の鉄道事業者が運行されていますが、各社別々のアプリケーション等を通じて情報提供を行っているのが現状です。この作品は、本コンテストで公開されたデータを活用することで、多数の鉄道事業者のデータを纏めて閲覧できるようにしたアプリケーションです。

本コンテストは、公共交通オープンデータ協議会の主催、INIAD cHUB（東洋大学情報連携学部 学術実業連携機構）、東京大学大学院情報学環ユビキタス情報社会基盤研究センター、CPaaS.io プロジェクトの共催により、2017年12月7日（木）から2018年3月15日（木）にかけて実施されました。東京地下鉄株式会社、東京都交通局、東日本旅客鉄道株式会社の特別協力のほか、21社局の交通事業者の協力を得て実施された、日本ではかつてない規模の公共交通分野のオープンデータコンテストとなりました。路線情報、時刻表情報などの静的データのほか、電車やバスのリアルタイムな位置情報と運行情報、航空の発着情報などの動的データも公開され、日本だけでなく海外からも多数の参加がありました。

本コンテストの成功を受け、公共交通オープンデータ協議会では、2020年に向け東京の公共交通データのオープン化に向けた活動をさらに加速して参ります。今年度も、さらにデータを拡充した第2回コンテストを2018年7月17日より実施予定ですので、ぜひご注目ください。

審査員長の坂村 健は以下のように講評を述べています

「東京」の公共交通の特徴の一つとして、公営の交通機関と、多数の民間事業者が運営する交通機関が、相互に複雑に乗り入れていることが挙げられます。多くの交通事業者が、動的データを含む自社の交通機関の情報を各自の Web サイトやアプリケーション等を通じて提供していますが、「果たしてそれだけで十分なのか」という問いかけを行ったのが、「Tokyo Trains」です。この作品は、チャレンジで公開されたデータを活用し、東京に乗り入れるあらゆる鉄道の情報を 1 つのアプリで閲覧できるというものです。利用者が「公共交通オープンデータ」に何を期待しているのかを端的に示した本作品を、最優秀賞に選びました。

また今回のチャレンジでは、交通機関の状況を可視化する作品も、多数寄せられました。このジャンルの作品の中からは、特に技術的な完成度が高いものとして、電車とバスの運行状況を 3D で表示する「HEAVY 4D TOKYO」を、準最優秀賞としています。

優秀賞には、公共交通オープンデータの意義に示唆を与える、次の 4 作品を選びました。「Sui っ都くん」は、車椅子利用者の方の鉄道利用を支援するためのアプリです。私は以前より、交通弱者を助けることはオープンデータの重要な役割だと考えており、その取り組みを高く評価したいと思います。「トイレファースト」は、バス路線沿いの公共トイレを探すためのアプリです。機能もさることながら、様々な公共施設のデータのオープンデータ化も進められており、それらとのマッシュアップの可能性を示唆している点も評価しました。「Conveyal TAU: Tokyo ODPT」は、2020 年に東京に訪れた訪日外国人観光客が直面するであろう、宿泊施設や競技場へのアクセスを支援する Web サイトです。技術的な完成度も高く、このような作品が海外の応募者から寄せられたことは注目に値します。最後に「トーキョーライズ」は、公共交通データを閲覧するために特化した、独創的な UX を提示するアプリです。オープンデータを通じて、新しいアイデアが生まれる典型例だと言えるでしょう。

このほか審査員特別賞には、公共交通オープンデータの新しい使い方を提案した「最寄り駅 AR 表示アプリ」「遅延報告書ポット」「Spotify と 駅間所要時間を組み合わせた音楽・広告配信サービス」の 3 作品が、それぞれ選ばれました。

今回の「東京公共交通オープンデータチャレンジ」には、多数の示唆に富む作品、技術的な完成度が高い作品が寄せられました。東京の公共交通データのオープン化が、未来の東京における移動の円滑化に貢献するのみならず、様々なイノベーションの源泉となることを期待しています。

[問い合わせ先]

公共交通オープンデータ協議会事務局（YRP ユビキタス・ネットワーク研究所内）

担当：柏、山田 電話：03-5437-2270、E-mail：odpt-office@ubin.jp

以上

【参考資料1】

<入賞作品>

賞	作品名	応募者名（敬称略）
最優秀賞	Tokyo Trains	日向 慧
準最優秀賞	HEAVY 4D TOKYO	オギクボ開発株式会社
優秀賞	Suiっ都くん	智恵の和
	トイレファースト	小川 芳樹・松原 剛・小野 雅史・柴崎 亮介
	Conveyal TAUI: Tokyo ODPT	Anson STEWART
	トーキョーラインズ	池間 健仁
審査員特別賞	最寄り駅 AR 表示アプリ	岡田 憲司
	遅延報告書ポット	株式会社ビズオーシャン
	Spotify と 駅間所要時間を組み合わせた音楽・広告配信サービス	平尾 康幸
東京都交通局特別賞	Swite	山田 雄太・山田 大二郎・田淵 義宗・片淵 小夜
	東京交通案内	渡海 裕未
	PHOTO ROUTE SEARCH	山川 宏賢
	Bus Trip	織田 拓磨・中西 葵・橘 ゆりあ
	バスナビ AR	宮林 健斗・椎橋 章・谷口 健太郎
東京地下鉄特別賞	降ります！乗ります！	株式会社両備システムズ 黒住 和奈
	寄り道 Navi	こてつ
	各駅の魅力を知ることが出来る電車内窓ビジョン広告	山下 愛加
	MUTRAIN	小松 広弥・片淵 小夜
	ユニバーサル乗換サポート	SAP Japan サービス部門 デザインシンキング研究会
東日本旅客鉄道特別賞	Smooth Transfers	山口 由人・五十嵐 健太・関山 宜孝
	公共交通オープンデータを用いたウェブ情報の自動検証システム	荻野 綾貴・藤原 明広（千葉工業大学）
	Dokoiku?	ジョルダン株式会社 山手 政実
	LOG TRIP TOKYO	河野 穰
	T O K Y O 宝箱 - 山手線版	株式会社QOL P
INIAD 特別賞	デジタル遅延証明	越塚 毅
	MICHIKUSA	三上 大河・斎藤 恭兵

【参考資料2】



図1: 最優秀賞「Tokyo Trains」(応募者: 日向 慧 氏)

### 【参考資料 3】

#### <開催概要>

##### [主催]

公共交通オープンデータ協議会

##### [共催]

INIAD cHUB（東洋大学情報連携学部 学術実業連携機構）、  
東京大学大学院情報学環ユビキタス情報社会基盤研究センター、CPaaS.io プロジェクト

##### [特別協力]

東京地下鉄株式会社、東京都交通局、東日本旅客鉄道株式会社

##### [協力]

小田急電鉄株式会社、小田急バス株式会社、関東バス株式会社、京王電鉄株式会社、  
京王電鉄バス株式会社、京成電鉄株式会社、京浜急行電鉄株式会社、国際興業株式会社、  
ジェイアールバス関東株式会社、西武鉄道株式会社、西武バス株式会社、全日本空輸株式会社、  
東急バス株式会社、東京急行電鉄株式会社、東京国際空港ターミナル株式会社、  
東京臨海高速鉄道株式会社、東武鉄道株式会社、東武バス株式会社、成田国際空港株式会社、  
西東京バス株式会社、株式会社ゆりかもめ

##### [オープンデータ・パートナー]

一般社団法人オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構、気象庁、文化庁、  
公益社団法人 全国公立文化施設協会

##### [後援]

内閣官房 IT 総合戦略本部、総務省、国土交通省、東京都、気象ビジネス推進コンソーシアム

##### [スケジュール]

応募期間：2017年12月7日（木）～2018年3月15日（木）

結果発表・表彰式：2018年5月15日（火）

##### [募集部門]

アプリケーション部門

アイデア部門

##### [審査会]

(審査員長)

坂村 健：公共交通オープンデータ協議会 会長、INIAD（東洋大学情報連携学部）学部長

(審査員)

村尾 公一：東京地下鉄株式会社 常務取締役

久原 京子：東京都 理事（ICT 戦略担当）

松橋 賢一：東日本旅客鉄道株式会社 総合企画本部システム企画部長

[コンテスト Web サイト URL]

<https://tokyochallenge.odpt.org>

### 【補足資料】

[公共交通オープンデータ協議会]

公共交通オープンデータ協議会は、公共交通事業者および ICT 事業者から構成される、産官学連携の協議会です。鉄道、バス、航空の分野において、公共交通関連データのオープン化に向けて活動を行っています。鉄道、バス、航空などさまざまな交通機関のデータをワンストップで提供する「公共交通オープンデータセンター」の構築を目指しています。

<http://www.odpt.org>